

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和2年度事業点検・評価調書

5-Ⅱ-12

5-Ⅱ-12

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	本土側の関連団体との連携
節	Ⅱ.伝統文化・地場産業の振興		
事業(施策)名	12 本土側の佐渡金銀山 関連団体等との連携	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業実施期間	H28～R4	関連団体	県文化行政課、佐渡市観光振興課、佐渡を世界遺産にする会、佐渡を世界遺産にする新潟の会、佐渡を世界遺産にする首都圏の会
事業概要	【事業目的】	○ 佐渡金銀山の世界遺産ブランドを活用し、本土側の関連自治体、団体等との連携・協働を図り、広域的な情報発信を図る。	
	【事業内容】	○ 本土側のかつての「金の道」に関連する自治体や団体等との広域的な連携・協力体制を築き、相互交流の促進や県内外への情報発信を推進する。	
事業計画と実績	【R2年度計画】	● 本土側の関連団体等との連携を図る機会として、「新潟産直市」や「金の道ウォーク」をはじめ、新潟県内や首都圏で行われる各種イベントを活用する。	
	【R2年度実績】	● 新型コロナウイルス感染拡大に伴い、集客イベントの多くが中止となったが、代替としてマスメディアでの情報発信や広報誌の発行など、県内や首都圏での啓発活動を実施した。	
課題・今後の取組	【課題】	■ 本土側の関連団体の連携を促進し、各種活動などを相互に情報発信していく体制を築く必要がある。	
	【今後の取組】	■ 令和3年度の推薦候補決定を見据え、本土側の民間支援団体・民間企業・関連自治体などとの意見交換や協議の場を設ける。	
事業評価	【事業の達成度】 [a・(b)・c]	◇ 概ね計画どおり進んでおり、一定程度の成果が得られていることからB評価とした。	
	【事業実施の効果】 [a・(b)・c]		
	【総合評価】 [A・(B)・C]		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。